

その他の版画

■彫り進み版画

図画工作科の教科書やwebでは「彫り進み版画」が紹介されている。大まかに次のような版画である。

＜彫り進み版画の特徴＞


- 多色木版画
- 板木を彫刻刀で色ごとに彫りすみながら、多色で写し取る版画
- 色を重ねて刷っていくので、色が美しい
- 絵の苦手な児童でも満足度は高い



◇準備する材料・用具

- ①版木（シナベニヤ板が多い）時間がかかるのであまり大きくないサイズで
- ②彫刻刀 ③和紙 ④水性版画インク（水彩絵の具、ポスターカラー） など

◇授業のながれ

| 授業のながれ(子どもの活動) | 教師の準備・支援 |
|--|--|
| 1 下絵を描く ! いろんな色を使えるテーマがよい 2 版木に絵を描く 3 下絵に彩色し色の計画を立てる 4 版木を彫りながら刷る ○下絵の色を確認しながら彫り、一色ずつバレンで刷る ・薄い色から先に刷る ○詳しくは教科書やwebをご覧ください。くるとわかりやすく示されているので本稿では紹介にとどめる | ! ①の場合できあがりは左右反対に写る  下絵にイメージを着色 3 何色でも可能だが、4色ぐらいに限定しておいた方がよい ! この版画は、彫ったら元に戻れないので、最初の色を作りたい枚数刷っておく |

■発想の転換

- ①版は四角 → 三角や楕円の版木にする
- ②版を彫る → 別々に板を切って形を作り、形ごとに色をつけて刷る など
 発想を変えればまだまだ手軽に作れる版画がある

■教師の思いが喜びを生む

教材のヒントはあらゆるところにある。教師が「子どもの喜ぶ顔を見たい」という願いがある限り、きっとすばらしい版画が生まれるにちがいない。

■発展 ～小学校から中学校へ～ 中学生の版画作品

中学校でも発展的にマーブリング、スパッタリング、一版多色木版画などを取り上げる



マーブリングのイメージに描き加えて



一版多色木版画



一版多色木版画



ドライポイント（塩化ビニール板で）